



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社みらいワークス 上場取引所 東
コード番号 6563 URL <https://mirai-works.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 祥治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート部長 (氏名) 池田 真樹子 (TEL) 03-5860-1835
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|------|------|------|------------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年9月期第1四半期 | 2,363 | 20.4 | 53 | 59.8 | 55 | 47.1 | 19 | 5.7 |
| 2023年9月期第1四半期 | 1,961 | — | 33 | — | 37 | — | 18 | — |

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 19百万円(5.7%) 2023年9月期第1四半期 18百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年9月期第1四半期 | 3.82 | 3.73 |
| 2023年9月期第1四半期 | 3.77 | 3.62 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年9月期第1四半期 | 2,750 | 1,171 | 42.57 |
| 2023年9月期 | 2,698 | 1,151 | 42.66 |

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 1,171百万円 2023年9月期 1,151百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2024年9月期 | — | — | — | — | — |
| 2024年9月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,000 | 19.5 | 350 | 48.8 | 350 | 40.0 | 190 | 47.3 | 37.16 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年9月期1Q | 5,261,000株 | 2023年9月期 | 5,261,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年9月期1Q | 32,268株 | 2023年9月期 | 32,268株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2024年9月期1Q | 5,228,732株 | 2023年9月期1Q | 5,007,958株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手されている情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が一層緩和され個人消費や設備投資を中心に持ち直しの兆しがみられる状況となりましたが、世界的なエネルギー価格や原材料価格の高騰、円安の進行、ウクライナ情勢の不透明さなどの影響により、依然として先行きは不透明な状況であります。

このような環境の中で、首都圏を中心とした人材不足及び働き方改革への関心の高まり、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進の加速、地方創生の促進を背景に、当社グループのプロフェッショナル人材向けサービス事業は、様々な事業会社を中心に受注を拡大し、売上高は成長を続けております。

当社グループでは、プロフェッショナル・エージェンツ事業を主軸事業とし、付随事業としてWebプラットフォーム・サービス、ソリューション提供サービスを展開しております。

プロフェッショナル・エージェンツ事業においては、顧客企業と当社グループとの間で締結された業務委託もしくは人材派遣契約に基づき、当社グループはその業務を、当社グループ案件紹介サービス「FreeConsultant.jp」に登録のあるプロフェッショナル人材へ再委託、あるいは当社グループで有期雇用をして顧客企業へ人材派遣を行っております。また、顧客企業より依頼があれば、正規雇用の採用支援も行っております。

Webプラットフォーム・サービスにおいては、社会課題である東京一極集中の是正を目指した副業・転職プラットフォームサービスの提供を行っております。副業イノベーションプラットフォーム・サービス「Skill Shift」においては、地方金融機関や自治体と業務提携を行い、都市部人材の持つ業務スキルによる地方企業の経営課題の解決を目指し、地方企業へ副業人材を紹介しております。地方求人メディア・サイト「Glocal Mission Jobs」「Glocal Mission Times」においては、都市部プロ人材に対して地方転職を目的に、地方での働き方や地方企業に関する情報発信を通じ地方への興味喚起を行い、魅力ある地方優良企業の経営幹部ポジションなどの転職先を紹介しております。また、プロ人材の転職力を拡張するための情報提供メディアである「FIND CAREERS」を運営しており、人生100年時代におけるみらいの働き方に関わる情報提供プラットフォームとなることを目指しております。

ソリューション提供サービスにおいては、プロフェッショナル・エージェンツ事業及びWebプラットフォーム・サービスにより蓄積されたノウハウとビッグデータを活かしたビジネス課題に対するソリューションの提供を、大企業、自治体を中心に進めております。現在、リスキリング推進による社員のウェルビーイング向上・人的資本経営推進を支援する「実践型リスキリングサービス」・社内外の人材を活用することで企業自治体が進めるイノベーションの推進を支援する「イノベーション・サポート」・起業を志すプロフェッショナル人材や成長段階にある企業に対し資金面を含めた総合的な支援を行う「みらいインキュベーション」以上3つのソリューションを提供しております。

これら事業推進の結果、特にプロフェッショナル・エージェンツ事業の売上高に関連する各種KPI（契約数、直接営業人員数、大手企業取引数等）が順調に推移したことで、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,363,027千円（前年同期比20.4%増）となりました。

また、利益面に関しても、主力事業であるプロフェッショナル・エージェンツ事業が順調に推移したことで、営業利益は53,114千円（前年同期比59.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は19,954千円（前年同期比5.7%増）となりました。

なお、当社グループは、プロフェッショナル人材向けサービス事業を中心とした様々な事業を展開しておりますが、経済的特徴が概ね類似していること等から、セグメント別の記載はしていません。

(注) サービス名は商標又は登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、2,750,961千円となり、前連結会計年度末に比べ52,356千円増加いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産が52,061千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,579,808千円となり、前連結会計年度末に比べ32,401千円増加いたしました。これは主に、買掛金が101,999千円増加し、未払法人税等が66,735千円、賞与引当金が25,824千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,171,153千円となり、前連結会計年度末に比べ19,954千円増加いたしました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が19,954千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想については、2023年11月14日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 886,276 | 883,251 |
| 売掛金及び契約資産 | 1,097,604 | 1,149,666 |
| その他 | 50,357 | 76,143 |
| 流動資産合計 | 2,034,237 | 2,109,061 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 74,893 | 73,087 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 402,134 | 375,739 |
| その他 | 48,699 | 45,493 |
| 無形固定資産合計 | 450,834 | 421,232 |
| 投資その他の資産 | 138,638 | 147,581 |
| 固定資産合計 | 664,367 | 641,900 |
| 資産合計 | 2,698,605 | 2,750,961 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,153,834 | 1,255,833 |
| 未払法人税等 | 86,032 | 19,296 |
| 賞与引当金 | 56,420 | 30,596 |
| その他 | 251,119 | 274,081 |
| 流動負債合計 | 1,547,406 | 1,579,808 |
| 負債合計 | 1,547,406 | 1,579,808 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 77,315 | 77,315 |
| 資本剰余金 | 377,777 | 377,777 |
| 利益剰余金 | 721,016 | 740,971 |
| 自己株式 | △24,910 | △24,910 |
| 株主資本合計 | 1,151,198 | 1,171,153 |
| 純資産合計 | 1,151,198 | 1,171,153 |
| 負債純資産合計 | 2,698,605 | 2,750,961 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 売上高 | 1,961,869 | 2,363,027 |
| 売上原価 | 1,479,511 | 1,775,353 |
| 売上総利益 | 482,357 | 587,673 |
| 販売費及び一般管理費 | 449,125 | 534,559 |
| 営業利益 | 33,231 | 53,114 |
| 営業外収益 | | |
| 経営指導料 | 4,383 | — |
| 受取手数料 | 508 | 777 |
| 助成金収入 | — | 1,250 |
| 雑収入 | 122 | 273 |
| 営業外収益合計 | 5,013 | 2,300 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 571 | — |
| 営業外費用合計 | 571 | — |
| 経常利益 | 37,673 | 55,414 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 37,673 | 55,414 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 10,393 | 19,296 |
| 法人税等調整額 | 8,395 | 16,162 |
| 法人税等合計 | 18,788 | 35,459 |
| 四半期純利益 | 18,884 | 19,954 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 18,884 | 19,954 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日) |
|-----------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 18,884 | 19,954 |
| 四半期包括利益 | 18,884 | 19,954 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 18,884 | 19,954 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

2024年1月29日開催の取締役会において、2024年4月1日(予定)を効力発生日として、当社の100%子会社である株式会社ハイブを下記のとおり吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及びその事業の内容

| | |
|--------|---------------------------|
| 結合当事企業 | 株式会社ハイブ |
| 事業の内容 | クリエイターのキャリアに特化した各種メディアの運営 |

② 企業結合日

2024年4月1日(予定)

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、株式会社ハイブを消滅会社とする吸収合併方式(簡易合併・略式合併)

④ 結合後企業の名称

株式会社みらいワークス

⑤ 取引の目的を含む取引の概要

当社は、『プロフェッショナル人材が挑戦するエコシステムを創造する』というビジョンのもと、「人生100年時代」を実践する「未来の働き方」を支えるプラットフォームの創造を目指しており、当社のプロフェッショナル人材の多様な挑戦の機会創出に関わってきた実績と、株式会社ハイブ独自のクリエイターネットワークが掛け合わされることにより、クリエイターのキャリアの選択肢拡充に貢献でき、株式会社ハイブの目指す「クリエイターのキャリアと未来を切り開く」と当社ビジョン「プロフェッショナル人材が挑戦するエコシステムを創造する」の双方の実現に繋がること、そしてデザイン経営(※)の重要性がますます高まる中で、当社のクライアント企業に対する多様なソリューションの提供の可能性が広がることから、2022年10月に株式会社ハイブの株式を取得し、連結子会社といたしました。株式会社ハイブは、クリエイターのキャリアと未来を広げるエンジンとなるべく、クリエイターに特化した転職メディア「MOREWORKS (<https://www.moreworks.jp>)」、国内トップクラスの制作会社のWEBデザインギャラリー「URAGAWA (<https://uragawa.work>)」を運営しております。

今後、当社が有する各種サービス及び経営基盤と、株式会社ハイブが培ってきた転職メディア等を融合させることで、組織運営の一体化による更なる事業拡大とブランド力の向上を実現し、管理コストの最適化を図るとともに、経営基盤の強化を進めることを目的として、本合併を行うことといたしました。

※ デザイン経営とは、デザインの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法を言う。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施する予定であります。